

事務事業評価シート

平成 29 年 3 月 1 日作成

評価対象	平成	27	年度	評価実施	平成	28	年度	110	政策体系	2 13 77	予算区分	病院事業	0 0 0 11
------	----	----	----	------	----	----	----	-----	------	---------	------	------	----------

事務事業名		病院企業債元金償還					担当	課所名		病院事務局					
総合振興計画上の政策体系		政策	2	健康と福祉のまちづくり			事業区分	課所	担当係名		庶務担当				
		基本施策	13	医療					新規事業・継続事業		継続事業				
		基本事業	77	小鹿野中央病院の充実					実施計画事業・一般事業		一般事業				
		No. 11			大病業名				総合戦略事業該当		非該当				
		病院事業			病院企業債元金償還金				単独事業・補助事業		単独事業				
事業計画	単年度繰返し	事業期間	<input type="checkbox"/> 昭和	7	～	平成	根拠法令、例規・要綱	地方公営企業法、地方公営企業繰出基準							

1 事務事業の現状把握【Plan、Do】

(1) 事務事業の手段・目的、指標

手段	① 本事務事業の主な実施内容等を記入してください。												
	事業概要(具体的な事務事業の実施内容・進め方)			平成27年度実績(平成27年度に実施した事業内容)									
目的	平成7年度～平成27年度中に建設改良を行った医療機器、病院増改築費等に充てた企業債平成27年度分の償還を行う。 また、一般会計より地方公営企業法第17条の2(経費の負担の原則)により償還額の2/3の額を繰入れ償還に充てている。			○借入物件 14件 ○償還額 87,905千円 ○27年度末残高 1,155,496千円 [参考]平成28年度起債予定 医療機器 19,100千円 平成29年度起債予定 耐震工事 80,000千円、オーダリングシステム等 140,000千円、 その他医療機器 20,000千円 計 240,000千円 なお、借入先未定のため下記償還額には28、29年度起債は反映していない。									
				活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	30年度(見込)	31年度(見込)			
			償還額	千円	87,905	92,183	80,657	76,843	69,512				
目的	② 対象(本事務事業は、誰・何を対象としているのかを記入してください)												
	老朽化した医療機器の更新、病院付帯設備の改良及び新規事業に必要な医療機器等の整備を行う。			対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	30年度(見込)	31年度(見込)			
			医療機器整備費	千円	20,561	23,734	160,000						
			車両整備費	千円		4,500							
			建物・構築物整備費	千円			80,000						
目的	③ 意図(本事務事業により、対象をどのような状態・状況にしたいのかを記入してください。)												
	住民に安心・安全な医療を提供するため			成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)			
目的	④ 結果(本事務事業をどのような結果に結びつけるのかを記入してください。)												
	住民に安心・安全な医療を提供するためには施設及び医療機器等の整備を行い、切れ目のない医療を提供する。			上位成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)			
			外来患者受診者延数	人	41,937	42,720	42,800						
			入院患者受診者延数	人	29,668	31,200	31,500						

(2) 事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	87,905	92,183	80,657	76,843	69,512	
	事業費計	千円	87,905	92,183	80,657	76,843	69,512	
	事業費の内訳	千円	節	事業費	節	事業費	節	事業費
			13	87,905	13	92,183	13	80,657
	トータルコスト	千円	87,905	92,183	80,657	76,843	69,512	

(3) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて実施した具体的な改革・改善の取組について記入してください。(事業終了の場合は記入不要)
	この欄は、「平成27年度事務事業に対する評価」を踏まえた平成29年度に実施する取組について、平成29年度に実施する事務事業評価において記入

2 視点別評価【Check】

目的 妥当性 の評価	① 政策体系との整合性(本事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか?)		
	結びついている	理由・改善案	新規及び更新された医療機器等で継続的な医療を提供できている。
	② 公共関与の妥当性(本事務事業は、町が実施しなければならないですか? 民間等に委ねることはできませんか?)		
A1 町が実施しなければならない	理由・改善案	病院経営を町運営している以上は町で実施する必要があると思われる。	
③ 対象・意図の妥当性(本事務事業の現状や成果から考え、対象や意図を見直す必要がありますか?)			
A 妥当である	理由・改善案		
有効性 の評価	④ 事務事業の成果向上の余地(本事務事業の成果は出ていますか? 内容や進め方などを見直すことで成果を向上できますか?)		
	A 成果向上の余地はない	理由・改善案	
	⑤ 類似する事務事業との統合・連携の可能性(類似の目的や活動形態を持つ事務事業がほかにありますか? ある場合、統合・連携の可能性等は?)		
A1 類似する事務事業はない	理由・改善案	類似する事務事業名	
効率性 の評価	⑥ 事業費・人件費の削減余地(本事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減させることができますか?)		
	A 削減の余地はない	理由・改善案	
公平性 の評価	⑦ 受益者負担の適正化余地(本事務事業の受益者は誰ですか? 目的や成果から考え、受益者負担を見直す必要性がありますか?)		
	A1 受益者負担は求める必要がない	理由・改善案	医療の最終受益者は町民となり、すでに税金として収めているためそれ以上に負担することは考えられない。
終了等 の条件	⑧ 事務事業の終了・休止・縮小の条件・可能性(本事務事業は、どんな状況・状態になれば終了等(終了・休止・縮小)となりますか?)		
			病院事業を町で運営する以上は終了の可能性なし

3 視点別評価結果に基づく総括と今後の方向性等【Action1】

(1) 今後の事務事業の方向性 (上記「2 視点別評価」の『②～⑦』においてB、C、Dのいずれか』を選択し、改善等が必要と評価したものを4項目まで記入してください。)			
(2) 上記(1)に基づいた改革・改善案等を記入してください。(事務事業終了の場合は記入不要)			
(3) 上記(2)を実現する上で、解決すべき課題・障壁、また、その解決策等を記入してください。			(4) 今後の事務事業の方針
			A 現状維持(従来通り実施)

4 内部評価における総括【Action2】

2及び3の結果を踏まえた総括事項、特記事項等を記入してください。(3の(4)で「A現状維持、D事務事業終了」を選択した場合の理由等も記入)
住民に安心・安全な医療を提供するためには、施設及び医療機器等の整備を充実させ、切れ目のない医療を提供することが必要で、今後も企業債の借入及び償還事務の適正な運用が必要である。